

受託加工プロセスの構築と所感



千葉営業所
丸山純一

2019年も半分が過ぎました。米中貿易摩擦、イランを中心とした中東情勢、南北朝鮮との関係など日本経済の不確実性が増してきました。グローバル化により遠く離れた第三国同士の事柄でもタイムリーに、また時にはより大きく日本に影響をあたえて変化の流れは速いです。変化する環境に対して仕事のやり方も変えていかなければ生き残っていけないと思います。

そんな中で新しい取り組みにチャレンジする機会を頂きましたのでお話をしたいと思います。

昨年、あるお客様より新製品の生産対応のため加工設備の引き合いがあり、ご注文を頂くことが出来ました。しかし設備納期が約半年で製品の供給に間に合いませんでした。そこで導入までの期間限定で加工を依頼できる企業様を紹介して欲しいとの相談を頂きました。当社は一部で製品の受託加工を請負っておりましたが、私自身は全く経験がなくその関係の人脈もありませんでしたのでゼロからの調査となりました。

まずはインターネット等で受託加工を行なっている会社を探して問い合わせをしました。しかし、今の仕事で手一杯でそんな物量是对応できないと断られてしまいました。(設備を数台占有してしまうほど数量が多かったのです) 次に自分が担当しているお客様に色々とお話をしてみました。何かかお願いに回ったところ、あるお客様が相談にのって下さいました。

そもそもですが、この新製品の加工は旋盤加工、穴あけ加工、ミーリング加工などがあり、工程集約として複合加工機を導入となりました。相談にのっていただいたお客様はマシン

加工が得意で旋盤加工は生産が手一杯でしたので、旋盤加工が得意な仲間とのコラボレーションを提案してくれました。

何度かの試作を経て供給が開始しました。その中で京二はお客様と協力企業様との間で材料支給や納期、品質管理のお手伝いをいたしました。設備導入までの期間限定の案件でしたが、紆余曲折があり結果的に現在も継続してお手伝いさせて頂いております。

取り組みを通してこんな事を改めて感じました。

■新しい取り組みへのチャレンジ

今まで取り扱っていない商品でも最初から諦めずにはまずトライしてみる事。結果的に新商品の開発につながる事もあります。

■京二のネットワーク

京二は東北から関西まで広く展開し中国調達のお客様は全国に渡っています。お客様、仕入先様ともに幅広いネットワークがあります。今回のようにお客様を繋ぐお手伝いが出来れば新たなビジネスチャンスが生まれるかもしれません。そのためにはお客様の事、取扱商品の事をよく知らなければコーディネート出来ません。

■人とのつながり

困ったときにまず初めに相談を持ちかけてくれたり、相談にのって下さるお客様がいるということは大変幸せなことだと思います。困り事はやはり面倒なことが多いですが、敬遠せずにお受けしなければと思います。

お客様の役に立てるよう新しい取り組みへのチャレンジや変化を恐れず精進して参りたいと思いを新たにいたしました。



お勧めの工程集約設備 !!

中村留精密工業(株) タレット型複合旋盤 WY-100 II

<ポイント>

- * 上下刃物台に Y 軸搭載 Y 軸移動量 84mm
 - * 対抗 2 スピンドルで LR 同時加工
 - * NT ワークナビ 鍛造品など異形ワークでも治具不要で位相検出
 - * エアバック / 異常負荷検出
- 衝突時の負荷を大幅に軽減。衝突を検知した 8/1000 秒後に送りモーターが逆転でスライドが後退。